”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

＜ 第 26 号 ＞
２００９．１２．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

「協働による農山村づくり シンポジウム 2009」開催

‘取り戻そう！ふるさとの豊かな農地と地域の絆’をテーマに、１１月１８日（水）鳥取県米子市の米子コンベンションセンターにおいて農地・水・環境保全向上対策のシンポジウムが開催されました。シンポジウムでは中国四国地域の活動組織や市町村関係者約４００人（島根県からは約６０名）が参加し、事例発表や地域づくり活動に関する講演、パネルディスカッションが行われました。会場前のロビーでは水路補修相談会や活動組織のパネル展示も催されました。

市山環境保全会の牛尾事務局長からの事例発表

活動組織の事例発表では、中国四国農政局長賞を受賞した江津市「市山環境保全会」など計６組織から、地域の結束力の強さや住民の共同活動、環境に優しい営農活動の様子について報告がありました。なかでも「市山環境保全会」の事例発表では、地域にいる土木技術者が指導者となって、老朽化の進んだ施設の補修を多くの住民の参加による自主施工で実施した事例のほか、２０年以上も耕作放棄されていた棚田を住民が協力して復旧し、子供たちの農業体験学習の場として活用したり、菜の花やヒマワリなど四季折々の景観植物を植栽して地域の憩いの場、シンボルゾーンとして保全している「やぶさめ棚田」の事例など、本対策と地域の公民館活動とが一体化して農村の地域づくり活動として受け入れられ、地域に根ざしてきている様子が報告されました。

地域の活性化、元気な農業の実現のためにも、地域が一緒になって知恵を出し助けあう取り組みが必要です。農地・水・環境保全向上対策は地域ぐるみの共同活動を支援します。

来年度のシンポジウムは徳島県で開催される予定です。

活動事例紹介

農村の崩壊を食い止める地域コミュニケーションづくり

活動組織名：上宇部尾環境保全協議会（松江市）

私達の町は、松江市の北東部に位置し、中海に浮かぶ大根島や遠く大山を望む風光明媚なところです。

世帯数は 30 世帯、10 数年前にほ場整備した 20ｈａ弱の水田を兼業農家を中心とした農家が耕作していますが、少子・高齢化、若者の流出による後継者不足と、限界集落へと刻一刻と進展しつつある状況です。

高齢化の進捗や営農意欲の低下によると思われる状況が、耕作放棄地の増加、水路や農道などの農業用施設の管理に支障を及ぼし、徐々に農地が荒地へと変貌しつつあります。

米の消費低迷、米価の下落、異常気象の増加による営農環境の悪化など農家を取りまく状況は、産業としての農業の崩壊を予感させるものです。

その上に世代間、地域間などの地域コミュニケーションの低下は、農業だけでなく農村そのものの崩壊が近づいてきていると感じさせます。このような中、何とか農村の崩壊を食い止めるべく、自分たちに何が出来るのか、出来ることから始めようと平成 20 年から農地・水環境保全活動を開始しました。

高校生との稲作交流

各活動を伝える情報誌

私たちの活動は、農村のあり方に視点を置いたことや、幸いに水路や農道などの農業用施設については、今のところ大規模な補修や改修を要する状況ではないことから、農業および農業施設の保全そのものより、地域内・地域間コミュニケーションの確保・拡大や、農村環境の保全のために一人ひとりが考え行動するために、農村に居住する全ての住民の意識変革を図ることをメイン活動として取り組んでいます。

具体的な活動事例としては、市内の高校生たちとの稲作交流、耕作放棄地や農地への菜の花やコスモスなど季節ごとの花の植栽活動、川の水質調査や子供会との生き物探しなどの活動などを行っています。また、意識啓発活動として、活動事例を交えた情報誌を頻繁に発行するなど徐々に活動は進展してきています。

心をつなぐ“高畑のシンボル”

活動組織名：高畑環境ファーム（美郷町）

私たち高畑環境ファームでは、組織のスローガンを掲げた看板を間伐材を利用して作りました。周りにはチェーンソーアートの動物たちも並びます。

道行く車も止まり、子供たちにも大人気で、組織のシンボルとして、農村環境を守る取り組みを地域内外の方に広くＰＲ出来ています。

「美土里の豊かな郷やまの農業を」
農地をまもり水のきれいな
自然の保護を

看板の完成を記念して

チェーンソーアートの動物たち

小学生も「田んぼの生き物調査」の前に全員集合

農地･水･環境保全向上対策も事業仕分け

行政刷新会議による「事業仕分け」が１１月２７日（金）までに行われましたが、その最終日、２７日の午後、農地・水・環境保全向上活動が中山間地域直接支払制度と一緒に『小規模農家に配慮した補助金事業』として仕分けされました。

■小規模農家に配慮した補助金事業仕分け結果

耕作放棄の防止に取り組む集落を支援する中山間地域等直接支払制度（国補助２６５億円）は事務費削減以外は予算要求通り。

地域による農地や水路の保全活動を支援する農地・水・環境保全向上活動（同２３２億円）は「１割程度の予算要求の縮減」と判定。

今後、財政当局と農林水産省の間で予算折衝が行われ、事業仕分け結果がどのように予算案に影響するのかは不明ですが、年末「平成２２年度政府予算原案」が決定される見通しです。各活動組織においては、交付金を最大限活用し（繰越金は最小必要額に止める）、施設の修繕活動や環境保全活動により一層がんばってください。

★今月の予定★

５（土） ～６（日）	第２０回全国合鴨フォーラム島根大会（吉賀町）
６（日）	ため池簡易補修研修会（西部会場：益田市）

ちょっと一息
おたよりコーナー

上意東地域向上委員会（八束郡東出雲町）から「上意東農業祭」のお便りが届きました。

農業祭３０周年を記念して昔の農村風景を再現する堤の補修の様子

私達は11月23日（月）に催された「上意東農業祭」に出店し、営農活動として地域で取り組んでいる「京らぎ米（コシヒカリ）」のすくい取り、「有機そば」の試食、農産物の販売を行いました。
当日は、町内外から1000人以上の来場者があり、多くの方へ私達自慢の特産品をPR出来ました。
独自で作った"幟"もPRに一役買いました。
P.S.土日、祝日には「おちらと村（八束郡東出雲町上意東）」の中で、そばの食事やそば打ち体験が出来ますので是非皆さん来てください。

大勢の人でにぎわう農業祭

昭和２０年代の花嫁行列

皆さんの努力が実り、賑やかなお祭りになったようですね。
写真のように昔からの伝統や言い伝えを継承していくこともとっても大事なことですよね。
今後も、地域に根付いた活動を期待しています。

【投稿規定】
郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名、を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月２０日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町 432-1　島根県土地改良事業団体連合会「おたよりコーナー」係。
FAX 番号（0852）24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　Tel0852-32-4141　Fax0852-24-0848
http://www.shimanedoren.or.jp/arkadia/kai_set.htm
◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）　Tel0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）　Tel0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。